

第47回 緑の市民懇話会 議事要旨

1 日時 令和3年3月23日(火) 午前10時00分～午前11時50分

2 場所 生駒市役所 401・402会議室

3 出席者

(参加者) 久隆浩座長、下村泰彦、新居延之、倉品夏江、澤村章男、長尾夏江、
山田勲、米田友二、高比良紀、真下藍

(事務局) みどり公園課 知浦課長、吉本課長補佐、大神所長、南、長谷川

4 要旨

1. 開会

2. 案件

(1) 懇話会メンバー紹介

※事務局からの説明

- ・ 懇話会開催期間を令和5年までに改正し(資料1)、これまでの参加者と新たに市民参加者2名を迎え、新体制で懇話会を始動
- ・ 参加者13名の紹介及び自己紹介
- ・ 座長選出 久隆浩様に決定

(2) 第13回花と緑の景観まちづくりコンテスト審査

現地審査結果について

※事務局からの説明

- ・ (資料2)に基づき、採点の集計方法等について説明
- ・ メンバーからの意見、得点などを精査し、合議で次のとおり決定した。

最優秀賞		事業所部門2
優秀賞		個人住宅部門5
コミュニティ部門	景観賞	コミュニティ部門3
	まちづくり賞	コミュニティ部門4
学校部門	景観賞	学校部門1
	まちづくり賞	学校部門2
事業所部門	景観賞	
	まちづくり賞	事業所部門1
個人住宅部門	景観賞	個人住宅部門2
	まちづくり賞	個人住宅部門4
議長賞		コミュニティ部門7 個人住宅部門1

新人賞	コミュニティ部門2 コミュニティ部門6
-----	------------------------

- ・ 表彰式日時：令和3年5月22日（土）午前10時
- ・ 場所：「花のまちづくりセンターふろーらむ」
- ・ 当懇話会を代表して久座長から講評をいただく
- ・ 表彰式後に「ガーデンパーティーinふろーらむ」開催予定

3. その他

(1) 令和3年度 第14回花と緑の景観まちづくりコンテスト応募要領等について

※事務局からの説明

- ・ 資料3「応募要領」・資料4「審査要領」の内容は令和2年度と同じ
- ・ 募集期間：4月1日から4月16日まで
- ・ 現地審査：4月下旬、7月上旬、11月下旬を予定
- ・ 令和2年度助成事業対象団体・コンテスト参加者・市内小中学校・幼稚園・保育園・いこまち4月号・市のホームページ及び公式Twitterへ応募の案内

○今年度・来年度に向けての意見

- ・ 新しい方・特に事業所部門の応募が少ない、参加者の皆さんには、個人商店へも応募の呼びかけをしてほしい。
- ・ 鹿ノ台は、小中・自治会から積極的に応募をしてもらっている。
- ⇒ リーダーが引っ張っていく素地ができているため、担当が変わっても継続されているのではないか。
- ・ 全国的なことではあるが、コロナの影響が令和3年度の応募にどう響くか懸念される。
- ・ 我々参加者が審査をしているが、専門的な知識を持った方を加えられないか「花とみどりの楽校」で教わった知識を持っている参加者もいるが、そうでない方は、何を基準にして審査をすれば良いのかわからないと思う。専門家から、審査に対する総合的な考え方を学べる機会があればと思う
- ⇒ ガーデニング・植え方の専門家はいないが、市民が市民を選ぶのもこの会の意義だと考える。審査は、ある一定の水準は超えている。
- ⇒ 審査の前に「こういう見方をしてほしい」と言うと、審査が片寄ってしまうかもしれないので、あえて言わないようにしている。自由に皆さんの感性で審査してよい。
- ⇒ ガーデニングデザインを頑張っているが選に漏れた方は、見方を変えれば、一般市民に共感が得られていないとも言える。必ずしも専門的な観点から評価をしなくても市民感覚で一定の評価ができています。どのようにしたらと悩んでいる方は、景観まちづくりアドバイザーなどに相談をすればアドバイスを受けられる。
- ⇒ 入賞している庭や公園を見ればヒントになる。ふろーらむにはその写真が展示してあるので、ふろーらむの庭も含めて参考にさせていただきたい。ふろーらむの職員も、アドバイスできるかもしれないので活用してほしい。

- ⇒ 最優秀賞と優秀賞に選ばれたところには、花だけでなく、木を組み合わせ
て工夫しているという共通点がある。花と緑の景観まちづくりコンテストだ
が、これまでは花に偏っているように思う。花だけだと、植え替えの手間や
コストがかかる。花と木をうまく組み合わせた応募を期待している。
- ・ 初めて参加される方に、このコンテストの認識と、若い世代にどうしたら
伝わるかを聞きたい。
- ⇒ このコンテストのことは知らなかった。事業所部門の応募が少ないとのこ
とだが、商店が応募することによって何がモチベーションになるかは、お店
が周知されることだと思う。入賞すると、表彰と副賞に加えて、生駒市のホ
ームページに歴代の入賞者を掲載するというような広報をしていけば、お店
のメリットとなるので、手間がかかっても応募と思う。
- 活動には気軽さが大事。若い世代にはSNSで発信していくことが有効。
- ・ これまでの受賞作品は手間をかけていることで、応募のハードルがあがっ
ている。手間はかかってないが、ちょっとした工夫で効果をあげている「ち
ょっとした頑張り賞」のようなものを設けてもよい。その事例をSNSや市
のホームページで紹介してもよいと思う。
 - ・ 住宅地の緑化を考えたとき、個人住宅の敷地の広さ・向きによって庭を設
ける条件が違ってくる。それぞれをうまく活かしている事例写真などを紹介
してもよい。またそれぞれの宅地の条件を考慮したうえで、頑張っ
て効果をあげているものには評価して良いと思う。この点は、審査基準にはないが、
審査員で考えていけばよいと思う。
 - ・ 鹿ノ台の緑地では、年中楽しめるように、樹木の特性を考えて植えている。
緑は色々な工夫をすることで増やせる。少しの工夫で効果的に花と緑を作っ
ている人もいる。その人を表彰したり、ちょっとした工夫を集めて、情報発
信をしたりしても良いのでは。
- ⇒ 四季の感性、どの花がいつ咲くかを子ども達が体感できる機会があるのは
良い。
- ・ 若い世代は、広報誌はあまり見ない。審査条件の検討も大事だが、まず審
査対象を増やす必要がある。そのためにはSNSを活用すべき。ちょっ
とした工夫を「わたしの緑」として1枚の写真を募集し、SNSにあげてもら
うことも考えられるのでは。
 - ・ SNSで応募できないか、できるように早急に進めてほしい。
- ⇒ これまでの提案もふまえて新しい部門をつくるということも今後考えてい
きたい。
- ・ スマホで写真を撮って、そのまま応募できるようなれば、若い世代には参
加しやすい。
 - ・ このコンテストのコンセプトは、景観を重視した見える花と緑を評価する
ものであり、花づくりコンテストになっていくように思う。花がきれいでも、
雑草があるとそれだけで評価がさがる。雑草がなく手間をかけている点も評
価の基準のひとつとしている。

- ・ 緑のボランティア団体がフィールドとしている場所がある。緑だけのきれいな場所でもこのコンテストに応募できる。
 - ・ 生駒市はほかの市に比べて、市民が花を植える場所を多く提供している。
 - ・ 令和3年度の予定と令和2年度の実績を報告してほしい。この会は意見聴取の場でもあるので、集約した意見を、次々年度施策の参考にしてほしい。また、P-P F I（特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する「公募設置管理制度」）を活用し、指定管理制度にプラスし、民間の力を借りて公園事業を行う等、この場では決まっていないことについても、ざっくばらんに意見や情報交換をしていきたい。
- ⇒ 次回の懇話会で、令和3年度の予定と令和2年度の実績を報告する予定である。コンテストへのご意見は、次々年度に反映できたら思う。P-P F Iについては、業者を交えては難しいが、市民の力をどのように活かせるのかを今後この懇話会で意見をいただきたい。
- ・ 生駒駅前について、北側は花だんなどがたくさんあるが、南側はみどりが少ないので置いてほしいと考えている。
- ⇒ 市民の力を借りながらできることを今後考えていきたい。そのために場所などの相談や、アイデアがあれば知らせてほしい。行政は業務の領域外のところには目が届きにくいですが、みどり公園課は他部署と話し合う機会が多いので、実現に向けて考えていきたい。

※事務局からの連絡事項

- ・ 次回会議は令和3年4月19日(月)午前10時～ 401・402会議室
- ・ 第14回花と緑の景観まちづくりコンテストの現地審査
4月28日(水)、7月2日(金)、11月26日(金)
いずれも市役所1階市民課前ロビーに午前9時集合

4. 閉会